



第5回「諏訪湖まるまるゴミ調査」結果

諏訪湖創生ビジョン推進会議

1 調査目的	諏訪湖全域でゴミの調査を行い、「諏訪湖のゴミの現状」を明確化する。得られたデータの集積及び公表により、流域内にお住まい、お勤めの皆様の関心を高めるとともにゴミの発生抑制に繋げていく。	
2 実施日時	令和6年11月9日（土） 午前8時から概ね50分間	
3 参加人数	226名（グループ数 35）	諏訪湖創生ビジョン推進会議構成員、アダプトプログラム登録団体、一般参加者（参加希望者）
4 実施エリア	5エリア（別紙のとおり。）	
5 調査種類	18種類（飲料ペットボトル、ペットボトルのふた(単体)、レジ袋、肥料袋、カップ型飲料容器、空き缶（アルミ）、空き缶（スチール）、ビン、ストロー、紙くず、ビニール破片、たばこの吸い殻、食品トレー、発砲スチロール、弁当・惣菜などの容器、苗用ポット、プラスチック破片、マスク） ※下線はプラスチック製品由来。たばこの吸殻については、フィルター部分が大部分を占めることから、プラスチック製品由来に分類。ビニール破片はお菓子の包装等の軟らかいプラスチック破片。プラスチック破片は硬いプラスチックの破片。	

6 調査結果

諏訪湖周のゴミの数量はプラスチック製品由来のものが全体の9割以上を占め、その内の7割以上が小さなビニール片やプラスチック片でした。

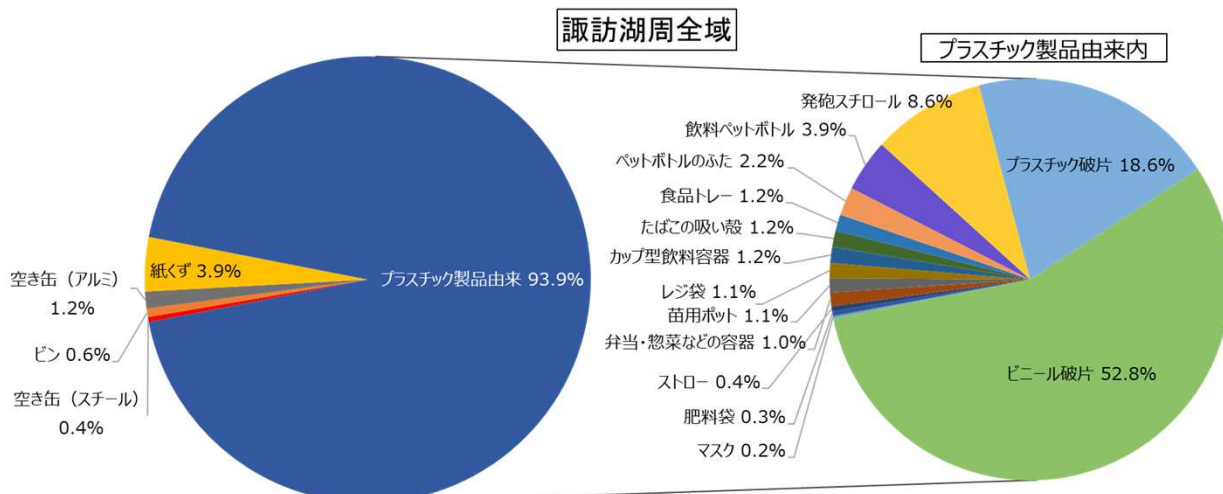
(1) 回収量 諏訪湖周全域で回収したゴミの数と重量は以下のとおりです。

回収量（個）	全種類計：5,069個（内プラスチック製品由来：4,758個）
回収量（kg）	可燃ゴミ：299kg、不燃ゴミ：35kg

種類	エリア					計（全域）
	①	②	③	④	⑤	
1 飲料ペットボトル	29	69	27	68	7	200
2 ペットボトルのふた	21	42	34	6	6	109
3 レジ袋	1	46	7	1	3	58
4 肥料袋	4	6	6	1	0	17
5 カップ型飲料容器	19	21	9	10	2	61
6 空き缶（アルミ）	6	33	3	19	1	62
7 空き缶（スチール）	0	7	1	10	1	19
8 ビン	6	16	4	4	1	31
9 ストロー	4	5	6	3	1	19
10 紙くず	19	120	32	24	4	199
11 ビニール破片	368	814	1,252	203	37	2,674
12 たばこの吸い殻	8	15	14	20	5	62
13 食品トレー	13	32	6	6	6	63
14 発砲スチロール	92	117	52	158	17	436
15 弁当・惣菜などの容器	19	20	8	4	2	53
16 苗用ポット	11	8	28	7	0	54
17 プラスチック破片	118	499	153	145	29	944
18 マスク	0	2	2	3	1	8
合計	738	1,872	1,644	692	123	5,069
(内)プラスチック製品由来	707	1,696	1,604	635	116	4,758

※網掛けはプラスチック製品由来

(2) 回収割合 諏訪湖周全域の個数の割合を示します。エリアごとの割合は別紙のとおりです。



7 ふりかえり

調査の後、グループごとにふりかえりを行っていただきました。

ごみ拾いで感じたことについて、「ビニールのごみが多かった。」、「陸はきれいだが、波打ち際はごみが多い。」、「普段目につかない小さなプラスチックが多い。」などの意見が寄せられました。

諏訪湖のごみの影響については、「環境汚染につながる。」、「下流へ流れると海洋プラスチック問題になる。」、「景観を損ねる。」などの意見がありました。

ごみはどこからやってきたと思いますかという問いに対しては、「川から諏訪湖に流れ込んだ。」、「ごみ置き場や農地から風や雨で流されてきた。」、「ポイ捨て」などの意見がありました。各エリアの主なご意見等は別紙をご覧ください。

また、「たのしかった。」、「諏訪湖が汚かったけれど、少しでもきれいにできた。」、「自分達が住んでいる町の諏訪湖にこんなにごみが落ちていることを知ることができた。」、「一般の人にもこの活動を知ってもらいたい」など、イベントに対するご意見をいただくことができました。

8 調査の様子



開会式 メイン会場(エリア③)



調査とふりかえり



水辺での調査実施中



閉会式 メイン会場 (エリア③)

9 まとめ

プラスチックは成形しやすく衛生的であることから、身の回りの様々なものに使われています。しかし、紫外線や熱に弱いため、屋外で長く使われたものは劣化により細かくなり、風に飛ばされたり、雨に流され、31本の流入河川を通じて諏訪湖に流れてきています。

家や学校、お店や事業所の周り、さらに街中、農地等にある、劣化が進んだプラスチック等を片付けることで、諏訪湖の細かなごみを減らすことができます。「ごみの無い諏訪湖」、また今世界的に問題となっている海ごみを無くするためには、落ちているごみを拾うだけでなく、家庭や事業所から発生するごみを減らすこと、そしてごみを流出させないことが重要となります。まずは自分のまわりから取り組みをはじめませんか。それが、諏訪湖や世界の海の環境を守ることに繋がります。

10 今後

第5回「諏訪湖まるまるゴミ調査」は2年ぶりに諏訪湖全域で実施することができました。調査にご参加いただいた方に多くのごみを回収していただき、実態把握に繋がるデータを得ることができました。

今後は、調査により得られたデータを集積し、公表していくことで、流域にお住まい、お勤めの皆さまに関心を寄せていただき、ごみの発生抑制につなげ、「ごみの無い諏訪湖」を目指していきます。

調査は今後も引き続き実施していく予定です。